

月刊

ENGO

9月号

2015年9月1日

カトリック大阪大司教区ENGOプロジェクト

発行責任者：松村繁彦（香里教会）

連絡先：TEL：072-834-3800

FAX：072-833-9271

e-mail: engo@osaka.catholic.jp

第5回復興支援全国会議

2015年6月29日～7月1日

《あれから4年》

2015年6月29日から7月1日にかけて、全国の東日本大震災復興支援に関わる70名程の司祭・修道者・信徒がAコース（岩手県・宮城県）・Bコース（福島県）に分かれて現状の視察や現場の声を拝聴し、最終日に仙台元寺小路教会に集まって今後についての意見交換を行った。



福島県の除染作業は終わることがない

今回の会議では、復興支援によって生まれた新たな課題なども具体的に拝聴できた。行政の支援制度により新たに生まれた金銭の差や心の不和、支援する側と受ける側、将来に向けた思いなど、支援に関わる人の心の複雑な悩みも浮き上がり、ともに苦しみ、ともに歩むキリスト者としての使命が改めて問われることを実感した。

● Aコース

宮古教会→長崎教会管区大槌ベース→NPO法人カリタス釜石→大阪教会管区大船渡ベース→陸前高田→南三陸→石巻ベース→仙台元寺小路教会

現場の復興状況を視察しながら、特に漁業復興の現状や行政が進める復興事業の問題、仮設住宅支援員によるお話など、教会の支援活動ではなく、より現場に必要とする支援の視点から、話を聴くことができた。

● Bコース

野田町教会→二本松教会→郡山教会→いわき教会→大熊町大河原地区→J ヴィレッジ→富岡駅→小高市「希望の牧場」→原町ベース→仙台元寺小路教会

津波・地震・放射線量の3つの被害を体験した福島県は、課題や苦しみが地域によってあまりにも違う。その中で改めてその痛みをうかがい、それぞれの場で行っている多種多様な支援活動の状況をうかがった。特に地域の人々自らが立ちあがって復興を目指している姿や、踏ん張っている状況なども聞き、逆に大きな希望を頂いたように感じた。

● 全体会

最終日には仙台教区内で行われている復興活動が紹介され、仙台教区各県から参加されたパネリストから小教区活動の現状が報告された。



青森・岩手・宮城・福島県の小教区の現状説明

仮設回り・地域協力・心のケア・町おこし・ボランティアの現状・行政の限界、等など色々な視点で話され、今回視察に行けなかった地域の事も、この全体会で更に紹介されることとなった。

何よりも皆さんが語っていたことは、「東北の人々のことを忘れないでほしい」という心の叫びであった。支援に力を注ぐ“直接的支援”もあるが、祈り、思い、身近な存在として「出来ることで構わないから関わる」センスを大切にする“間接的支援”の方が現地の方々にとって特に大切であることを教えられた。

支援コンサート

支援コンサート《いのりの花束V》の紹介です。各教会にパンフレットは配布済みです。奮ってご参加ください。

Days
2015.9.26 (土)
14:00 開演 (13:30 開場)

Place
カトリック神戸中央教会

●一般 2,000 円
●中学生 1,000 円
●小学生 (3歳まで) の親子券 2,500 円
●未就学児童 無料 (0歳-2歳)
●当日券もあります。

全席自由
※このコンサートの収益金は、公約機関を通して被災地支援のために使われます。

東日本被災地支援チャリティ・コンサート

いのりの花束V

【演・曲】こいずみ ゆり
【演奏】キーボード：山下 憲治
【友情出演】トロンボーン：辻 冬樹
【曲目】あたらしい朝野に咲く花
アメージング・グレイス (作詞 John Newton) ほか

チケット販売場所
●St.Paul KOBE (聖パウロ書院)
☎ 078-393-7755

インターネット予約
こいずみゆり オフィシャルサイト
<http://www.yurikoizumi.com/>

コンサートへのメッセージ
カトリック大司教 池長 眞

聖女の心世界には「神の魂」がある。そこからの表現が歌となって流れ出る。歌は心はあたたか。なごみ、おだやかな喜びに包まれる。今日も豊かな心を贈らねばならぬ。

神戸地区 《ふっこうのかけ橋》

8月6日～8月10日

神戸地区は、今年も福島県松木町教会の子どもを中心に（保護者も同伴で）約20名程を招いて夏のキャンプが行われた。

たかとり教会で開会式が行われ、植物園や山登り、BBQ や神戸長田の地域祭り等を体験し、関西の夏を満喫した。大阪聖ヨゼフ会のシスターや教区神戸学生も駆けつけ神戸地区以外の協力者の応援も受け、無事に夏のキャンプを終えることができた。



上：たかとり教会での開会式
左：三木山登山オリエンテering

このプロジェクトを通して、改めて復興はまず子どもの心と絆からであることを学んだ。色々な支援の在り方があるが、このプロジェクトによって、将来東北と関西が、今後もこの子どもたちが架け橋となって一つに繋がるという希望が示された。

ボランティア支援制度

被災地は一人でも多くのボランティアを求めています。大阪教区 ENGO プロジェクトは下記の表に従い派遣者に対して①申し込み ②事前面接 ③事後報告書の提出により交通費等の補助を、皆さまの寄付金から拠出させていただき、多くの方が被災地に赴きやすいようにしています。複数回現利用可です。どうぞ御利用下さい。

パネルの貸出し

ENGO プロジェクトはパネルの貸し出しも行っています。今までには区民センターや社会福祉施設を始め、学校・幼稚園、教会などでも広く活用されており、その他の学習会や、種々の催し物でもご使用いただいています。ご利用希望の方はお気軽にご連絡下さい。
(A3版 28枚セット)

*尚、震災当時を忘れない事を目的に作成されましたので、現在の状況を映したものはございません。

ボランティア支援制度 (交通費等補助支援制度)

1週間（往復の日程を含み、
実質作業5日以上）
条件：①事前申し込み＆面談
②事後報告書提出
補助：**30,000円**
（報告書提出後振込）

2週間（往復の日程を含み、
実質作業10日以上）
条件：①事前面談＆面談
②事後報告書提出
補助：**50,000円**
（報告書提出後振込）

*問合せ・申込みは ENGO プロジェクトまで

面談・対応：ENGO プロジェクト担当司祭(神田神父・松村神父・春名神父)